

令和9年度 入学者選抜要項

一般選抜（前期日程）
一般選抜（後期日程）
学校推薦型選抜
社会人・学士選抜
編入学者選抜

本学の入学者選抜はすべてインターネット出願です。
出願の際は、今後公表される各募集要項を必ず確認の上、
手続きしてください。



青森県立保健大学

Aomori University of Health and Welfare

出願・受験・その他に関する問い合わせ先

青森県立保健大学教務学生課 入試担当

〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬 58-1

E-mail nyushi@ms.auhw.ac.jp

URL <https://www.auhw.ac.jp/>

TEL 017-765-2061 FAX 017-765-2188

◆入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）◆

本学の理念は、「公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育ててきた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献する」ことです。ここでいうヒューマンケアとは、ケアの提供者が知識や技術を磨き、さらに、人間とは何かを理解し、健康な人々から病気や障害をもった人々まで、それぞれの人々の心の痛みを感じるとる思いやりと温かさを持ち寄り添うことです。

この理念に基づき、本学は、高度の専門職知識と技術を備え、保健、医療及び福祉の連携、協力に向けて、社会の幅広い領域で中核的な役割を果たすことのできる優れた人材を育成し、もって地域の人々の健康及び福祉の向上に寄与することを目的としています。

この目的の実現のために、一般選抜（前期日程・後期日程）に加え、学校推薦型選抜及び社会人・学士選抜などの様々な受験機会を設け、アドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れています。また、青森県内で活躍する保健、医療及び福祉の専門職人材確保を目指し、学校推薦型選抜においては一定数の県内者枠を設けています。さらに看護学科には、青森県の地域包括ケアの中核となる看護職を育成するプログラムに参画し、卒業後のキャリア形成が可能なキャリア形成支援枠を設けています。

本学は、健康科学部において、保健、医療及び福祉の専門職として地域社会で活躍できる人材育成を目指しています。このため、健康科学を探究し、互いの専門性を尊重しながら連携、協力を図り、ヒューマンケア実践への意欲の高い、次のような資質を有する学生を求めます。

○ 健康科学部アドミッション・ポリシー

「人」や「健康」への深い関心と、生命を尊重する気持ちを持って、ケアする専門職となることへの動機付けを有していること。

また、個性豊かでパイオニアになるための素養としての論理性や独創性を有し、何事にも主体的に取り組む姿勢を持つ学生を求めます。

（知識・技能）

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

（思考力・判断力・表現力等の能力）

1 物事を論理的に考え、探究することができる。

2 自らの考えや気持ちを表現し、相手に伝えることができる。

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1 周囲の人と連携・協調し、良好な関係を保つことができる。

2 相手の立場を理解し、多様な考え方を受け入れることができる。

（意欲・専門分野への興味・関心）

1 健康科学に対する関心度が高く、自ら進んで学習する意欲がある。

2 目指す学問分野や専門職についての予備的知識をもとに、専門職として地域社会に貢献したいという情熱がある。

○ 各学科アドミッション・ポリシー

看護学科

看護学科は、人間の生涯にわたる健康生活を支え、援助できる人材を育成します。したがって、様々な境遇や健康段階にある人々を、共感や関心を持って多方面から理解し、地域特性を踏まえた社会的ニーズに対応し、専門職として倫理的に行動することが求められます。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能）

1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。

（思考力・判断力・表現力等の能力）

1 人間と健康との関係を論理的に考えることができる。

2 自らを表現し、周囲の人に自分の考えを的確に伝えることができる。

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1 自ら進んで意欲的に学ぶことができる。

2 豊かなコミュニケーション能力を持ち、適切な人間関係を保つことができる。

3 多様な人々の生き方や価値観を理解し、相手の気持ちを尊重できる。

（意欲・専門分野への興味・関心）

1 専門的知識・実践力・倫理的態度を身につける意欲がある。

2 看護に関心を持ち、看護職として地域社会に貢献する意欲がある。

理学療法学科

理学療法学科は、障害などによって体の動きが低下して日常生活に支障が出ている人や、その恐れがある人が自立した日常生活が送れるように、運動療法などによって基本的な動作能力の回復や維持を支援する専門領域です。したがって、障害を有する人たちに対する理解と共感、科学的探究心、責任感および主体的な問題解決能力が求められます。また、保健、医療及び福祉のシステムの中で、他の専門職の関係者と連携・協働して作業することも求められます。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。
- 2 理学療法学科を学ぶために基礎となる科目、特に物理や生物、化学を理解している。

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 理学療法の科学的探究の基盤となる、論理性を有する。
- 2 自らの発言や行動に責任をもち、周囲の人に自分の考えを的確に伝えることができる。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 向上心を持って自己研鑽に努め、自ら課題を発見してその解決に向けて努力することができる。
- 2 人々の多様な立場や考えを理解したうえで良好な人間関係を構築し、周囲と協働して作業ができる。

(意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 医学や医療に対する関心度が高く、特に理学療法分野で目的意識と情熱を持って地域社会に貢献する意欲がある。

社会福祉学科

社会福祉学科は、社会の事象や動向を的確に認識し、生活主体者としての人間の尊厳を深く理解した上で、社会生活上の困難を抱えた人に対する専門的支援ができる人材を養成し、ひいてはヒューマンケアを実践できる人を育成しています。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 個人や社会の事象を客観的に把握し、論理的に説明できる基礎的な技能を有し、さらに、これらの技能を高める意欲がある。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 他者の立場を理解し、かつ他者と共感的に関わることができる。
- 2 他の人々と協働するための柔軟性や協調性を育む意欲がある。

(意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 社会福祉の向上を目指し、目的意識を持って地域社会に貢献する意欲がある。

栄養学科

栄養学は保健・医療分野のなかで基盤となる学問です。その学問および実践の専門家である管理栄養士は、食品、調理といった口に入る前のことから、体内での代謝・生理、また人々の食行動に関するさまざまな要因について理解する必要があり、幅広い学問的基礎と深い洞察力、柔軟な応用力が求められます。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。
- 2 栄養学の専門分野を主体的に学ぶための基礎となる科目、特に生物や化学を理解している。

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 人間の健康と栄養との関係を論理的に考え、的確に伝えることができる。
- 2 栄養学を通して生命と健康にかかわる真理を追求することに情熱がある。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 豊かなコミュニケーション能力と“Think globally, act locally”の感覚を持っている。

(意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 健康の維持・増進、疾病の予防・回復・再発防止を目指して、食を通じた人々への支援に取り組みたいという目的意識を持って地域社会に貢献する意欲がある。
- 2 地域における農林水産食品の加工・調理や機能性にかかわる研究開発にチャレンジする意欲がある。
- 3 ヒューマンケアを実践したいという夢と情熱を持っている。

目 次

I	令和9年度入学者選抜概要.....	1
	◆ 入学定員・募集人員	
	◆ 選抜日程	
II	一般選抜.....	2
	一般選抜の実施教科・科目等.....	4
III	学校推薦型選抜.....	8
IV	社会人・学士選抜.....	12
V	編入学者選抜.....	13
VI	全選抜共通の出願・入学に関する事項.....	15
VII	大学までの交通案内.....	17
	〈参考1〉選抜方法とアドミッション・ポリシーの対応表.....	18
	〈参考2〉令和8年度入学者選抜結果.....	22
	◆ 選抜状況	
	◆ 入学者の内訳	
	◆ 都道府県別志願・合格状況等	

I 令和9年度 青森県立保健大学入学者選抜概要

◆ 入学定員・募集人員

学部 ・ 学科名	入学 定員	募集人員					
		一般選抜		学校推薦型選抜		社会人 ・ 学士選抜	
		前期日程	後期日程	県内人材 育成枠	キャリア形成 支援枠		
健康科学部	看護学科	105名	47名	6名	45名	5名	2名
	理学療法 学 科	31名	15名	3名	12名	—	1名
	社会福祉 学 科	50名	25名	4名	20名	—	1名
	栄養学科	30名	19名	3名	8名	—	—
計	216名	106名	16名	85名	5名	4名	

※学校推薦型選抜及び社会人・学士選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜（前期日程）に含めて選抜します。

※学校推薦型選抜は、県内者のみ出願できます。

◆ 選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
社会人・学士選抜	令和8年 8月18日(火)～ 8月21日(金)	令和8年 9月12日(土)	令和8年 9月18日(金)	令和8年 9月18日(金)～ 10月1日(木)
学校推薦型選抜	令和8年 11月2日(月)～ 11月9日(月)	令和8年 11月28日(土)	令和8年 12月8日(火)	令和8年 12月8日(火)～ 12月18日(金)
一般選抜	令和9年 1月25日(月)～ 2月3日(水)	令和9年 2月25日(木)	令和9年 3月8日(月)	令和9年 3月8日(月)～ 3月15日(月)
		令和9年 3月12日(金)	令和9年 3月24日(水)	令和9年 3月24日(水)～ 3月27日(土)

※ 出願期間の3日程度前からインターネット出願登録が可能です。

※ 令和9年度大学入学共通テスト 令和9年1月16日(土)、17日(日)

※ 入学手続について、土・日・祝日の受付は行いません。ただし、一般選抜後期日程の入学手続最終日 3月27日(土)のみ受付を行います。

II 一般選抜

一般選抜は、分離分割方式により前期日程、後期日程に分けて募集します。

○ 出願資格

一般選抜に出願する者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和9年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目をすべて受験していることを要します。

教科・科目の選択方法については、4～7ページのほか、大学入試センターが公表する「受験案内」等をよく確認してください。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

○ 出願上の注意

- (1) 同一日程で試験を実施する2つの大学・学部に出願することはできません。
- (2) 本学の前期日程の各学科と後期日程の各学科との学内併願を認めます。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く）に合格し、入学手続を行った者は、本学を受験しても合格者にはなりません（重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します）。
- (4) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く）の総合型選抜・学校推薦型選抜の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、本学に出願しても入学許可は得られません（辞退の許可を得ずに入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します）。
- (5) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く）の前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、本学の後期日程試験を受験してもその合格者にはなりません（重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します）。

○ 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等の成績並びに調査書の内容を総合して行います。

- (1) 実施教科・科目等
4～7ページ参照

- (2) 面接の実施方法

【前期日程】

複数の教員により、10～15分程度の個別面接を行う。出願の際に提出された調査書を面接の際の参考資料として使用します。

【後期日程】

複数の教員により、受験者複数人の集団討論（40～55分程度。まとめ文の作成を含み、受験者数に応じて所要時間が異なります。）及び10分程度の個別面接を行います。出願の際に提出された調査書を面接の際の参考資料として使用します。

(3) 合否判定基準

【前期日程】

大学入学共通テスト、小論文及び面接の総得点順に合格者を決定します。

【後期日程】

大学入学共通テスト及び面接の総得点順に合格者を決定します。

【前期日程・後期日程共通】

判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者が募集人員に満たない場合であっても不合格とする場合があります。特に、面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合があります。

○ 試験会場

青森県立保健大学（青森市大字浜館字間瀬 58－1）

令和9年度青森県立保健大学一般選抜の実施教科・科目等

学部	健康科学部					
学科	看護学科					
選抜区分	前期日程					
大学入学共通テスト	教科	国語	地理歴史, 公民	数学	理科	外国語
	科目名等	『国語』	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』	『数学Ⅰ, 数学A』	『物理』『化学』『生物』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』	『英語(リーディング及びリスニング)』
	科目選択方法等	《必須》	《1科目選択》注1 注2	《必須》	《1科目選択》注1 注2	《必須》注3
	配点等	100	100	100	100	200注4
	配点合計	600				
個別学力検査等	教科名	その他				
	科目名等	小論文	面接			
	2段階選抜	-				
	配点	100	100			
	配点合計	200				
計	800					

学部	健康科学部					
学科	看護学科					
選抜区分	後期日程					
大学入学共通テスト	教科	国語	数学	理科	外国語	
	科目名等	『国語』	『数学Ⅰ, 数学A』	『物理』『化学』『生物』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』	『英語(リーディング及びリスニング)』	
	科目選択方法等	《必須》	《必須》	《1科目選択》注1 注2	《必須》注3	
	配点等	100	100	100	100注5	
	配点合計	400				
個別学力検査等	教科名	その他				
	科目名等	面接注6				
	2段階選抜	-				
	配点	200				
	配点合計	200				
計	600					

注1 上記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。

注2 『地理総合/歴史総合/公共』は3出題範囲から2つ、また『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は地学基礎を除く3出題範囲から2つを選択解答すること。

注3 リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった者(リスニング免除者を除く。)は、出願資格を有しない。

注4 リーディングは100点満点を160点満点到に換算、リスニングは100点満点を40点満点到に換算し、合計200点満点とする。リスニングを免除された場合は、リーディングの得点(100点満点)を200点満点到に換算した得点を、外国語の得点とする。

注5 リーディングは100点満点を80点満点到に換算、リスニングは100点満点を20点満点到に換算し、合計100点満点とする。リスニングを免除された場合は、リーディングの得点(100点満点)のみをもって、外国語の得点とする。

注6 「面接」内容は、集団討論及び個別面接とする。集団討論は、まとめ文(討論の内容を要約し、討論を通して感じたことや考えをまとめるもの)作成を含む。

学部	健康科学部				
学科	理学療法学科				
選抜区分	前期日程				
大学入学共通テスト	教科	国語	数学	理科	外国語
	科目名等	『国語』	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B， 数学C』	『物理』『化学』『生物』から2科目	『英語(リーディング及びリスニング)』
	科目選択方法等	《必須》	《2科目必須》	《2科目選択》	《必須》注1
	配点等	200	200	200	200注2
	配点合計	800			
個別学力検査等	教科名	その他			
	科目名等	小論文	面接		
	2段階選抜	—			
	配点	150	50		
	配点合計	200			
計	1000				

学部	健康科学部				
学科	理学療法学科				
選抜区分	後期日程				
大学入学共通テスト	教科	国語	数学	理科	外国語
	科目名等	『国語』	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B， 数学C』	『物理』『化学』『生物』から2科目	『英語(リーディング及びリスニング)』
	科目選択方法等	《必須》	《2科目必須》	《2科目選択》	《必須》注1
	配点等	200	200	200	200注2
	配点合計	800			
個別学力検査等	教科名	その他			
	科目名等	面接注3			
	2段階選抜	—			
	配点	200			
	配点合計	200			
計	1000				

注1 リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった者（リスニング免除者を除く。）は、出願資格を有しない。

注2 リーディングは100点満点を160点満点に換算、リスニングは100点満点を40点満点に換算し、合計200点満点とする。リスニングを免除された場合は、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算した得点を、外国語の得点とする。

注3 「面接」内容は、集団討論及び個別面接とする。集団討論は、まとめ文（討論の内容を要約し、討論を通して感じたことや考えをまとめるもの）作成を含む。

学部	健康科学部					
学科	社会福祉学科					
選抜区分	前期日程					
大学入学共通テスト	教科	国語	地理歴史, 公民		数学	外国語
	科目名等	『国語』	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』から1科目 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共(再掲)』から1科目		『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』から1科目	『英語(リーディング及びリスニング)』
	科目選択方法等	《必須》	《2科目選択》 注2		《1科目選択》 注1	《必須》 注3
	配点等	100	地理歴史100	公民 100	100	200 注4
	配点合計	600				
個別学力検査等	教科名	その他				
	科目名等	小論文	面接			
	2段階選抜	-				
	配点	250	50			
	配点合計	300				
計	900					

学部	健康科学部					
学科	社会福祉学科					
選抜区分	後期日程					
大学入学共通テスト	教科	国語	地理歴史, 公民		数学	外国語
	科目名等	『国語』	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』から1科目		『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』から1科目	『英語(リーディング及びリスニング)』
	科目選択方法等	《必須》	《1科目選択》 注1 注2		《1科目選択》 注1	《必須》 注3
	配点等	100	100		100	100 注5
	配点合計	400				
個別学力検査等	教科名	その他				
	科目名等	面接 注6				
	2段階選抜	-				
	配点	200				
	配点合計	200				
計	600					

注1 上記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。

注2 『地理総合/歴史総合/公共』は3出題範囲から2つを選択解答すること。

注3 リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった者(リスニング免除者を除く。)は、出願資格を有しない。

注4 リーディングは100点満点を160点満点に換算、リスニングは100点満点を40点満点に換算し、合計200点満点とする。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算した得点を、外国語の得点とする。

注5 リーディングは100点満点を80点満点に換算、リスニングは100点満点を20点満点に換算し、合計100点満点とする。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点(100点満点)のみをもって、外国語の得点とする。

注6 「面接」内容は、集団討論及び個別面接とする。集団討論は、まとめ文(討論の内容を要約し、討論を通して感じたことや考えをまとめるもの)作成を含む。

学部	健康科学部				
学科	栄養学科				
選抜区分	前期日程				
大学入学共通テスト	教科	国語	数学	理科	外国語
	科目名等	『国語』	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B， 数学C』	『物理』『化学』『生 物』から2科目	『英語(リーディング 及びリスニング)』
	科目選択 方法等	《必須》	《2科目必須》	《2科目選択》	《必須》 注2
	配点等	200	200	200	200 注3
	配点合計	800			
個別学力 検査等	教科名	その他			
	科目名等	小論文	面接		
	2段階選抜	—			
	配点	150	50		
	配点合計	200			
計	1000				

学部	健康科学部				
学科	栄養学科				
選抜区分	後期日程				
大学入学共通テスト	教科	数学	理科	外国語	
	科目名等	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『化学』『生物』から1科目	『英語(リーディング及びリス ニング)』	
	科目選択 方法等	《2科目必須》	《1科目選択》 注1	《必須》 注2	
	配点等	200	200	200 注3	
	配点合計	600			
個別学力 検査等	教科名	その他			
	科目名等	面接 注4			
	2段階選抜	—			
	配点	200			
	配点合計	200			
計	800				

注1 上記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。

注2 リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった者（リスニング免除者を除く。）は、出願資格を有しない。

注3 リーディングは100点満点を160点満点に換算、リスニングは100点満点を40点満点に換算し、合計200点満点とする。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算した得点を、外国語の得点とする。

注4 「面接」内容は、集団討論及び個別面接とする。集団討論は、まとめ文（討論の内容を要約し、討論を通して感じたことや考えをまとめるもの）作成を含む。

III 学校推薦型選抜

○ 出願資格

次ページ以降を参照してください。学校推薦型選抜における「高等学校等」とは、高等学校、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が指定した在外教育施設及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を含みます。

○ 出願上の注意

- (1) 大学入学共通テストの受験を要しません。
- (2) 出願書類に重大な虚偽記載が認められた場合、又は出願資格要件を満たしていないことが判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く）の学校推薦型選抜の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、本学を受験しても合格者になりません（許可を得ず入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します）。
- (4) 県内者は、青森県内の高等学校等を令和9年3月に卒業見込みの者、又は青森県外の高等学校等を令和9年3月に卒業見込みの者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前から引き続き青森県内に住所を有する者をいいます。
- (5) 各校からの推薦人数は制限を設けません。
- (6) 学校推薦型選抜において、県内人材育成枠とキャリア形成支援枠の併願はできません。
- (7) キャリア形成支援枠について
キャリア形成支援枠で不合格となった者は、キャリア形成面接の得点を除いた総合点により、県内人材育成枠に組み入れて合否判定します。

○ 選抜方法

次ページ以降を参照してください。

○ 試験会場



青森県立保健大学（青森市大字浜館字間瀬 58－1）

令和 9 年度学校推薦型選抜（県内人材育成枠）

実施学部・学科名	健康科学部																												
	看護学科	理学療法学科	社会福祉学科	栄養学科																									
募集人員	45名	12名	20名	8名																									
目的	青森県立保健大学は、保健・医療・福祉の分野において、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな専門職を育成し、地域社会の健康と福祉の向上に寄与することを目的としている。この目的の実現のため、県内人材育成枠では、保健・医療・福祉の専門職を目指し、将来、青森県内で活躍することが期待される県内者を受け入れる。																												
出願資格	次の各号のいずれにも該当し、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 県内者である者（県内者については8ページ参照） (2) 高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、又は学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む） (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 (4) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上である者																												
選抜方法等	以下の内容を総合して行う。 ① 総合問題 各学科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、入学後の修学に必要な科学的思考力及び論理的思考力を問う。加えて、全学科共通問題において英語力を問う。 ② 作文 高校での学びや体験を通し、学力の3要素のうち「主体性・多様性・協働性」について学んだ内容を振り返るための作文を課す。テーマは試験当日に示す。作文の内容は面接で問われることがある。 ③ 面接（個別面接） ④ 志望理由書 ⑤ 調査書																												
面接の実施方法	複数の教員により、15～20分程度の個別面接を行う。出願時に提出された調査書及び志望理由書を、面接の際の参考資料として使用する。																												
配点	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>総合問題</th> <th>作文</th> <th>面接(個別面接)</th> <th>総合点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>100</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>100</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>100</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>100</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>				学科	総合問題	作文	面接(個別面接)	総合点	看護学科	100	30	70	200	理学療法学科	100	30	70	200	社会福祉学科	100	30	70	200	栄養学科	100	30	70	200
学科	総合問題	作文	面接(個別面接)	総合点																									
看護学科	100	30	70	200																									
理学療法学科	100	30	70	200																									
社会福祉学科	100	30	70	200																									
栄養学科	100	30	70	200																									
合否判定基準	総合問題、作文及び面接(個別面接)の総得点順に合格者を決定する。ただし、面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合がある。																												
出願期間	令和8年11月2日（月）～令和8年11月9日（月）																												
選抜期日	令和8年11月28日（土）																												
合格発表日	令和8年12月8日（火）																												
備考	上記は変更となる場合があります。学生募集要項を必ず確認してください。																												

令和9年度学校推薦型選抜（キャリア形成支援枠）

実施学部・学科名	健康科学部 看護学科																		
募集人員	5名																		
目的	青森県立保健大学は、保健・医療・福祉の分野において、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな専門職を育成し、地域社会の健康と福祉の向上に寄与することを目的としている。この目的の実現のため、キャリア形成支援枠では、青森県の地域に求められる看護職の育成を目指し、キャリア形成支援制度に参加する意思を有する県内者を受け入れる。																		
出願資格	次の各号のいずれにも該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者とする。 (1) 県内者である者（県内者については8ページ参照） (2) 高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、又は学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む） (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 (4) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上である者 (5) 本学ホームページに掲載する「キャリア形成支援制度説明動画」を視聴し、正確に理解した上で、「キャリア形成支援制度理解度チェックシート（兼意思確認書）」を提出する者 (5) 将来、青森県内の看護職として従事しようとする意欲を持ち、キャリア形成支援制度の趣旨を理解し、当該制度に参加する意思のある者																		
選抜方法等	以下の内容を総合して行う。 ① 総合問題 各学科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、入学後の修学に必要な科学的思考力及び論理的思考力を問う。加えて、全学科共通問題において英語力を問う。 ② 作文 高校での学びや体験を通し、学力の3要素のうち「主体性・多様性・協働性」について学んだ内容を振り返るための作文を課す。テーマは試験当日に示す。作文の内容は面接で問われることがある。 ③ 面接 ・個別面接（県内人材育成枠と同様の面接） ・キャリア形成面接 キャリア形成支援制度の趣旨等に関する理解を確認するとともに、受験者が居住する地域の現状や課題に対する認識並びに将来、看護職として地域にどのように関わりたいと考えているかを確認する。 ④ 志望理由書 ⑤ 調査書																		
面接の実施方法	複数の教員により15分程度の個別面接を行った後、10分程度のキャリア形成面接を行う。出願時に提出された調査書及び志望理由書を、面接の際の参考資料として使用する。																		
配点	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">学科</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">総合問題</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">作文</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">面接</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">総合点</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">個別面接</th> <th style="width: 15%;">キャリア形成面接</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>100</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table>					学科	総合問題	作文	面接		総合点	個別面接	キャリア形成面接	看護学科	100	30	70	50	250
学科	総合問題	作文	面接		総合点														
			個別面接	キャリア形成面接															
看護学科	100	30	70	50	250														
合否判定基準	総合問題、作文、面接の総得点順に合格者を決定する。ただし、個別面接又はキャリア形成面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合がある。																		
出願期間	令和8年11月2日（月）～令和8年11月9日（月）																		

選 抜 期 日	令和8年11月28日(土)
合 格 発 表 日	令和8年12月8日(火)
キャリア形成支援制度の趣旨等	<p>1 キャリア形成支援制度の趣旨 キャリア形成支援制度は、「地域に求められる看護職」を育成するため、大学と地域の医療機関が連携・協力し、在学中から卒業後まで一貫したキャリア形成支援を行うことを目的としている。 ここでいう「地域に求められる看護職」とは、急性期・回復期・慢性期・在宅医療など、地域の医療機能を理解し、多職種や関係機関と連携しながら、地域全体の医療を支える総合力・実践力を有する看護職を指す。</p> <p>2 キャリアサポートプログラムの概要 地域の中核病院等が作成するキャリアサポートプログラムに基づき、卒業後は急性期病院を拠点として、回復期・慢性期・在宅医療等を含む医療機関において、概ね6年程度を標準として、段階的に経験を積む。 ローテーション勤務は、地域医療を広く理解し、看護職としての成長を支えるための機会として位置づけられている。 ローテーション勤務終了後は、最初の拠点となる急性期病院に戻り、地域医療を担う看護職として勤務することを基本とする。</p> <p>3 キャリア形成支援制度の特徴</p> <p>① 在学中から、専属のキャリアサポートコーディネーター及び教員による継続的なキャリア形成支援を受けることができる。</p> <p>② 卒業後も、大学と医療機関が連携した継続的なキャリア形成支援を受けることができる。</p> <p>③ 急性期・回復期・慢性期・在宅医療など地域の多様な医療機能を計画的に経験し、段階的に専門性と総合力を高めることができる。</p> <p>④ 先輩学生や卒業生、医療機関の看護職等との交流機会を通して、将来のキャリアについて具体的に考えることができる。</p> <p>⑤ 将来的な大学院進学や専門看護師・認定看護師等へのキャリアアップを見据えた支援体制が整っている。</p> <p>⑥ キャリア形成支援制度の一環として、一定の条件を満たした場合には、卒業後2年目に奨励金(25万円)が交付される。</p>
備 考	<p>1 入学手続き書類とあわせて、「キャリア形成支援制度参加確認書(保護者の署名必須)」を提出する必要があります。</p> <p>2 キャリア形成支援制度の詳細は、本学ホームページをご覧ください。</p> <p> https://www.auhw.ac.jp/carrier/chiikiteichaku/index.html </p> <p>3 上記は変更となる場合があります。学生募集要項を必ず確認してください。</p>

IV 社会人・学士選抜

○ 出願上の注意

- (1) 大学入学共通テストの受験を要しません。
- (2) 出願書類に重大な虚偽記載が認められた場合、又は出願資格要件を満たしていないことが判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (3) 判定の結果、基準に満たないと認められる場合は、合格者を募集人員よりも減ずる場合があります。
- (4) 個人面接の得点が基準に満たない場合には、不合格とする場合があります。

実施学部・学科名	健康科学部																		
	看護学科	理学療法学科	社会福祉学科																
募集人員	2名	1名	1名																
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 令和9年3月31日までに満21歳に達し、社会人経験を3年以上有する者で、次のいずれかに該当する者。 なお、社会人経験には家事従事期間を含むが、夜間、定時制、通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校等昼間課程）に在籍していた期間は含めない。</p> <p>① 高等学校を卒業した者（高専3年修了者含む） ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(2) 大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者 (3) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに学士の学位を授与される見込みの者</p>																		
選抜方法等	総合問題（高等学校で得た基礎学力に基づき、英文読解力、論理的思考能力、表現力、自然科学の知識等を総合的に評価する出題を行う）及び面接の結果を総合的に判定して行う。																		
面接の実施方法	複数の教員により、15～20分程度の個別面接を行う。出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の際の参考資料として使用する。																		
配点	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>総合問題</th> <th>面接</th> <th>総合点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>			学科	総合問題	面接	総合点	看護学科	100	100	200	理学療法学科	100	100	200	社会福祉学科	100	100	200
学科	総合問題	面接	総合点																
看護学科	100	100	200																
理学療法学科	100	100	200																
社会福祉学科	100	100	200																
合否判定基準	総合問題及び面接の総得点順に合格者を決定する。判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者が募集人員に満たない場合であっても不合格とする場合がある。特に、面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合がある。																		
出願期間	令和8年8月18日（火）～令和8年8月21日（金）																		
選抜期日	令和8年9月12日（土）																		
合格発表日	令和8年9月18日（金）																		
備考	<p>(1) 上記は変更となる場合があります。学生募集要項を必ず確認してください。</p> <p>(2) 本選抜に係る過去問題は公表していません。</p>																		

V 編入学者選抜

○ 編入年次及び在学すべき年数

編入時期は令和9年4月とし、編入年次及び在学すべき年数は次のとおりです。

学科	編入年次	在学すべき年数
社会福祉学科	2年次	3年
栄養学科	2年次	3年

○ 出願上の注意

- (1) 出願書類に重大な虚偽記載が認められた場合、又は出願資格要件を満たしていないことが判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者を募集人員よりも減ずる場合があります。
- (3) 個人面接の得点が基準に満たない場合には、不合格とする場合があります。

実施学部・学科名	健康科学部	
	社会福祉学科	栄養学科
募集人員	4名	3名
出願資格	<p>志望学科ごとに次の要件に該当する者。在学していた学部・学科・専攻は問わない。</p> <p>(1) 社会福祉学科</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学士の学位を有する者、又は令和9年3月までに学士の学位を授与される見込みの者 ② 短期大学又は高等専門学校を卒業した者、又は令和9年3月に卒業見込みの者 ③ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上のものに限る。）を修了した者、又は令和9年3月に修了見込みの者 ④ 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者、又は令和9年3月にこれに該当する見込みのある者 <p>(2) 栄養学科</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学士の学位を有する者、又は令和9年3月までに学士の学位を授与される見込みの者 ② 短期大学・高等専門学校を卒業した者、又は令和9年3月に卒業見込みの者 	
選抜方法等	<p>個別学力検査等の成績（総合問題、面接）、志望理由書、成績証明書の内容を総合して行う。</p> <p>社会福祉学科：短期大学・高等専門学校での学習を含めた基礎学力に基づき、論理的思考能力、表現力、英文読解力を総合的に評価する。</p> <p>栄養学科：生物、化学の知識、理解力を基礎として、短期大学・高等専門学校での学習を含めた基礎学力に基づき、英語、国語の読解力、論理的思考能力、表現力等を総合的に評価する。</p>	
面接の実施方法	<p>複数の教員により、15～20分程度の個別面接を行う。出願の際に提出された調査書、成績証明書及び志望理由書を面接の際の参考資料として使用する。</p>	

配 点	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>総合問題</th> <th>面接</th> <th>総合点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>栄 養 学 科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	学科	総合問題	面接	総合点	社会福祉学科	100	100	200	栄 養 学 科	100	100	200
	学科	総合問題	面接	総合点									
	社会福祉学科	100	100	200									
栄 養 学 科	100	100	200										
合 否 判 定 基 準	総合問題及び面接の総得点順に合格者を決定する。判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者が募集人員に満たない場合であっても不合格とする場合がある。特に、面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合がある。												
出 願 期 間	令和8年8月18日（火）～令和8年8月21日（金）												
選 抜 期 日	令和8年9月12日（土）												
合 格 発 表 日	令和8年9月18日（金）												
備 考	<p>(1) 上記は変更となる場合があります。学生募集要項を必ず確認してください。</p> <p>(2) 本選抜に係る過去問題は公表していません。</p>												

VI 全選抜共通の出願・入学に関する事項

○ 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で身体に障害等（学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める程度）を有する者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願の前に青森県立保健大学教務学生課まで連絡し、相談してください。

なお、詳細については後日発表する学生募集要項を参照してください。

○ 学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定に基づく大学入学資格審査について

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号に基づく大学入学審査申請期間は次のとおりとします。

選抜方法	大学入学資格審査申請期間	審査結果通知予定時期
社会人・学士選抜	令和 8 年 7 月 17 日(金)～7 月 24 日(金)	令和 8 年 8 月中旬
一般選抜（前期日程・後期日程）	令和 8 年 12 月 9 日(水)～12 月 21 日(月)	令和 9 年 1 月上旬

○ 調査書が提出できない場合の取扱い

廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない者については、出願開始日の概ね 1 か月前までに相談を受け付けます。

なお、この場合の取扱いは、原則として次のとおりとします。

- ① 卒業証明書、成績通信簿その他入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えます。
- ② 入学志願者本人の被災により、上記書類も整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成した証明書をもって調査書に代えます。

○ 初年度納付金

- ・入 学 料 県内者 225,600 円、県外者 338,400 円
- ・授 業 料 年 額 535,800 円（5 月、10 月に半額ずつ納付）
- ・学外実習負担金

看護学科	31,000 円	社会福祉学科	14,000 円
理学療法学科	32,000 円	栄養学科	6,000 円

※ 実習に伴う交通費、ユニフォーム代、宿泊費等の費用は、別途必要です。

入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

このほか、後援会費（4 年分 50,000 円）、同窓会費（終身会費 10,000 円）、傷害・賠償保険料等を徴収しています。

○ 個人情報の取り扱い

(1) 利用目的

志願者から提出いただいた個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ① 入学者の学籍管理及び学生生活支援に関する事。
- ② 入学者選抜の改善のための調査・研究に関する事。
- ③ その他、教育・研究に関する事。

(2) 第三者への提供

上記(1)の各業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者において行うことがあり、その場合、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

(3) 国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

○ 学生募集要項の請求時期及び方法

入学者選抜に関する細目を記載した学生募集要項及び出願に必要な書類等は、下記に示した時期に本学ホームページで公表する予定です。学生募集要項は紙媒体では発行しません。すべての選抜において、インターネット出願となります。



青森県立保健大学ホームページ <https://www.auhw.ac.jp/boshu/exam/shiryou>



学生募集要項の種別	公表時期 (予定)
社会人・学士選抜、編入学者選抜	令和8年6月30日
学校推薦型選抜	令和8年8月31日
一般選抜 (前期日程・後期日程)	令和8年10月30日

〈参考1〉 選抜方法とアドミッション・ポリシーの対応表

○ 評価の視点

保健、医療及び福祉の専門職として活躍できる専門性を育み、互いの専門性を尊重しながら連携、協調を図り、ヒューマンケアを実践統合できる人材育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、社会人・学士選抜等の様々な入試方法を採用しています。各入試における評価視点は以下のとおりです。

看護学科

(○=該当する項目、◎=該当するもののうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心	
社会人・ 学士選抜	総合問題	◎	○			
	志望理由書				○	
	成績証明書	○				
	面接		○	○	◎	
学校推薦型選抜	県内 人材 育成枠	志望理由書				○
		総合問題	○	◎		
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	キャリア 形成 支援枠	志望理由書				○
		総合問題	○	◎		
		作文		○	◎	
		個別面接		○	○	◎
		キャリア形成面接	○	○	○	◎
一般選抜	前期 日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		○
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期 日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
		調査書	○		○	

理学療法学科

(○=該当する項目、◎=該当するもののうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心	
社会人・学士 選抜	総合問題	◎	○			
	志望理由書				○	
	成績証明書	○				
	面接		○	○	◎	
学校推薦型選抜	県内人材 育成枠	志望理由書			○	
		総合問題	○	◎		
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
	調査書	○		○		

社会福祉学科

(○=該当する項目、◎=該当するもののうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心	
社会人・学士 選抜	総合問題	◎	○			
	志望理由書				○	
	成績証明書	○				
	面接		○	○	◎	
学校推薦型選抜 県内人材 育成枠	志望理由書				○	
	総合問題	○	◎			
	作文		○	◎		
	面接		○	○	◎	
	調査書	○		○		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		○
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
	調査書	○		○		

入試区分	選抜方法	評価視点			
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心
編入学者選抜	総合問題	◎	○		
	志望理由書				○
	成績証明書	○			
	面接		○	○	◎

栄養学科

(○=該当する項目、◎=該当するもののうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心	
学校推薦型選抜	県内人材育成枠	志望理由書				○
		総合問題	○	◎		
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		○
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
		調査書	○		○	

入試区分	選抜方法	評価視点			
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心
編入学者選抜	総合問題	◎	○		○
	志望理由書				○
	成績証明書	○			
	面接		○	○	◎

〈参考2〉令和8年度入学者選抜結果

◆ 選抜状況

【看護学科】

単位：名

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加合格者数	入学者数	
学校推薦型 選抜	一般枠	県内者	36	74	74	38	—	38
		県外者	7	14	14	7	—	7
	地域定着枠（県内者のみ）		5	4	4	3	—	3
社会人・学士選抜		2	0	0	0	—	0	
一般選抜	前期日程	47	153	134	52	0	49	
	後期日程	8	148	44	13	0	10	
計		105	393	270	113	0	107	

【理学療法学科】

単位：名

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加合格者数	入学者数	
学校推薦型 選抜	一般枠	県内者	9	22	22	10	—	10
		県外者	3	9	9	3	—	3
社会人・学士選抜		1	2	2	1	—	1	
一般選抜	前期日程	15	64	56	17	0	16	
	後期日程	3	79	22	3	0	3	
計		31	176	111	34	0	33	

【社会福祉学科】

単位：名

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加合格者数	入学者数	
学校推薦型 選抜	一般枠	県内者	15	37	37	17	—	17
		県外者	3	2	2	1	—	1
社会人・学士選抜		1	0	0	0	—	0	
一般選抜	前期日程	25	44	44	28	0	26	
	後期日程	6	86	22	11	0	10	
計		50	169	105	57	0	54	

【栄養学科】

単位：名

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加合格者数	入学者数	
学校推薦型 選抜	一般枠	県内者	6	16	16	7	—	7
		県外者	2	6	6	2	—	2
一般選抜	前期日程	19	32	31	22	0	21	
	後期日程	3	24	3	3	0	3	
計		30	78	56	34	0	33	

◆ 入学者の内訳

単位：名

区分	入学者数	県内外者の内訳		男女の内訳		現役・浪人・社会人の内訳	
		県内者	県外者	男性	女性	現役	浪人・社会人
看護学科	107	56	51	6	101	107	0
理学療法学科	33	18	15	16	17	32	1
社会福祉学科	54	37	17	11	43	54	0
栄養学科	33	13	20	3	30	32	1
計	227	124	103	36	191	225	2

◆ 都道府県別志願・合格状況等

単位：名

都道府県等		志願者数	合格者数	入学者数
北海道・東北	北海道	90	31	27
	青森県	396	127	124
	岩手県	94	20	18
	宮城県	37	7	7
	秋田県	64	20	20
	山形県	36	9	9
	福島県	16	6	5
関東	茨城県	9	2	2
	栃木県	6	2	2
	埼玉県	2	1	1
	東京都	7	2	2
	神奈川県	2	0	0
中部	新潟県	11	2	2
	富山県	5	2	1
	長野県	4	1	1
	岐阜県	7	2	2
	静岡県	9	2	2
	愛知県	8	1	1
近畿	三重県	1	0	0
	京都府	1	0	0
	兵庫県	6	0	0
中国・四国	島根県	1	0	0
	岡山県	1	0	0
	広島県	1	1	1
九州・沖縄	長崎県	1	0	0
	沖縄県	1	0	0

※1 高校等所在地別によるため、入学者の内訳と異なることがあります。

※2 志願者のいない都道府県は除いています。